

会議名	第21回多摩市地域公共交通会議	
開催日時	令和8年2月13日(金) 10時00分～11時30分	
開催場所	永山公民館 ベルブホール	
会議次第	議事 (1) パブリックコメント結果の報告について (2) 次期多摩市交通マスタープランについて (3) 令和8年度の事業スケジュールについて 報告 (1) その他報告事項等	
出欠席(敬称略)	(1) 出席委員・22名(氏名()内は代理出席者の氏名)	
	職名	氏名 協議会構成委員
	会長	山崎 美樹子 多摩市 副市長
	副会長	吉川 徹 東京都立大学 都市環境科学研究科建築学域教授
	委員	濁澤 雅 京王電鉄株式会社 (野村 圭佑) 鉄道事業本部計画管理部計画担当課長
	委員	嘉屋 智樹 多摩都市モノレール株式会社 (中根修一郎) 総務部課長(経営戦略・経理担当、労務担当)
	委員	三浦 裕介 京王電鉄バス株式会社 運輸営業部乗合事業担当課長
	委員	鈴木 健一 飛鳥交通ニュータウン株式会社 東京・神奈川地区担当 営業部長
	委員	山崎 龍男 小田急交通南多摩株式会社 本社営業所取締役所長
	委員	小野 賢治 京王自動車株式会社 運輸事業本部副本部長
	委員	富樫 秀樹 一般社団法人東京バス協会 乗合業務部長
	委員	高橋 哲哉 一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会 専務理事
	委員	小林 康雄 多摩市視覚障害者福祉協会 理事
	委員	小林 義治 多摩市身体障害者福祉協会 理事長
	委員	宮崎 俊文 多摩市聴覚障害者協会 副会長
	委員	中村 一雄 多摩市自治連合会 会長
	委員	渡会 博之 多摩市老人クラブ連合会 副会長
	委員	中山 俊夫 国土交通省関東運輸局東京運輸支局 首席運輸企画専門官(総務企画担当)
	委員	佐々木 浩幸 京王バス労働組合 多摩支部 支部長
	委員	菅野 博明 飛鳥交通ニュータウン労働組合 執行委員
	委員	二瓶 秀雄 小田急交通南多摩労働組合 書記長
	委員	山下 邦洋 東京都南多摩東部建設事務所 管理課長

委員	永吉 申二	警視庁多摩中央警察署 交通課長
委員	小柳 一成	多摩市 都市整備部長
<p>(2) 欠席委員・・・5名</p> <p>(3) 傍聴者・・・0名</p> <p>(4) 事務局・・・4名 (多摩市都市整備部交通対策担当課長・道路交通課交通係 経済観光課) 2名 (株式会社ケー・シー・エス)</p>		

会議要点録

1 開会

- ・事務局が配布資料の確認を行った。

2 会長挨拶

- ・会長が開会の挨拶を行った。

3 議事

(1) パブリックコメント結果の報告について

事務局

- ・資料に基づいて事務局より説明を行った。

質疑・意見なし

(2) 次期多摩市交通マスタープランについて

事務局

- ・資料に基づいて事務局より説明を行った。

質疑・意見なし

山崎会長

- ・本資料について、異議等がなければ、多摩市交通マスタープランを承認としたい。

異議なし

山崎会長

- ・それでは、承認とする。

吉川副会長

- ・今後の地域公共交通の持続性に懸念がある中ではあるが、次期多摩市交通マスタープランは攻めの施策を盛り込んだ計画となった。併せて、公共交通のみならずモビリティハブなど地域コミュニティとの関係にも配慮し、地域の持続可能性に資する工夫を施すとともに、乗務員の労働環境改善に向けた施策も提言した。今後は、これら施策の着実な実施に期待している。

(3) 令和8年度の事業スケジュールについて

事務局

- ・資料に基づいて事務局より説明を行った。

質疑・意見なし

(4) その他報告事項等について

事務局

- ・資料に基づいて事務局より説明を行った。

1) 就職支援事業について

質疑・意見

多摩市身体障害者福祉協会 小林委員

- ・本事業について、他市での実施事例があるか伺いたい。もしあればご共有いただきたい。また、参考事例の成果についても確認したい。

事務局

- ・松戸市で開催された事例がある。自治体規模は異なるが、1回あたり約20社・200人程度が集まったと聞いている。

多摩市身体障害者福祉協会 小林委員

- ・本事業は必要であると考えます。一方で、多摩市ではシルバー人材センターの登録者数が多いものの、負担の大きい業務は敬遠される傾向にある。そのため、就業希望者と受入側の形をきちんと整えなければ、本事業で十分な成果が得られない可能性がある。

一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会 高橋委員

- ・本事業の対象企業について、条件を満たす企業と記されているが、協会も参加することは可能であるか。

事務局

- ・個別に相談させていただきたい。

多摩市聴覚障害者協会 宮崎委員

- ・応募にあたり、年齢要件はあるのか。また、障害者の受け入れは可能であるか。

事務局

- ・現時点では、求職者に対して制限を設ける予定はない。

2) 自動運転バスの実証運行について

質疑・意見

多摩市自治連合会 中村委員

- ・自動運転バスについて、本格運行の目標時期がいつ頃であるか伺いたい。

事務局

- ・目標としては、令和9年度に一部区間でレベル4を達成することを目指している。しかし、現時点では課題が多いため、現時点で具体的な日程は示せない。

多摩市聴覚障害者協会 宮崎委員

- ・乗務員不足への対応として自動運転は有効な考えであるが、自動運転導入後も車内に乗務員が乗車するのか伺いたい。

事務局

- ・運行形態やスタッフ配置については検討中である。運転業務のほか、料金收受や車椅子利用者への対応など多岐にわたる業務が存在するため、完全無人にできるかは、今後も検討が必要である。

多摩市聴覚障害者協会 宮崎委員

- ・それでは人手不足の解消にはつながらないのではないかと考えるが、いかがであるか。

事務局

- ・運転士は同乗せず、サポートスタッフが同乗する方式も議論されている。現時点では最適解が確立されている状況ではなく、今後も多様な意見を踏まえながら検討を進める必要があると考えている。

多摩市聴覚障害者協会 宮崎委員

- ・以前、知人が自動運転バスに乗車した際、路上駐車車両を自動で回避できるのか等、心配であり、乗車していて疲れると言っていた。

事務局

- ・自動運転技術は着実に進化しており、年々スムーズな運行が可能となってきている。乗車体験を通じて、こうした技術に対する安心感や信頼につながると考えている。一方で、路上駐車への対応など一部には依然として大きな課題があることも事実である。完全自動化は容易ではないが、乗車体験を通じて技術の進展を実感していただきたいと考えている。

多摩市自治連合会 中村委員

- ・A-Drive がどのような実績や評価を有する企業であるか伺いたい。

事務局

- ・A-Drive は、日本の自動運転実証実験において、多数の車両提供実績を有する企業である。三菱商事とアイサンテクノロジーによって設立された会社であり、アイサンテクノロジーは3D マッピング分野で多くの実績を持つ。さらに、今回はA-Drive といすゞが協力して車両を開発しているため、安心して乗車いただけると考えている。

3) ミニバス再編について

質疑・意見なし

4) その他

質疑・意見

多摩市身体障害者福祉協会 小林委員

- ・女性専用車両は、身体障害者も乗車できるのか、介助者がいなくても単独で乗車可能か伺いたい。

京王電鉄株式会社 野村委員

- ・身体障害者の女性専用車両への乗車は可能である。本人と介助者のいずれも手続

き不要で利用でき、介助者がいなくても乗車可能である。

多摩市聴覚障害者協会 宮崎委員

- ・聴覚障害者は見た目では分かりにくいいため、他の乗客が驚いたり乗車を断ったりするのではないかとこの心配があるが、その点をどのように考えているのか。

京王電鉄株式会社 野村委員

- ・以前は、係員が声かけをして確認していたが、性的マイノリティの方への配慮から現在は、個別に声かけを行っていない。女性専用車両に乗車した方の障害の有無が判断できない場合には、車掌が見守りを行っている。

多摩市聴覚障害者協会 宮崎委員

- ・男性が乗車した際、黙っているとクレームが入る可能性があるが、その場合どのように対応するのか伺いたい。

京王電鉄株式会社 野村委員

- ・他の乗客からクレームがあった場合は、車掌や駅係員がその場で状況を確認し、クレームが収まらない場合には、降車駅まで乗務員が乗客のそばにつく対応を行うこともある。しかし、近年はそのような事例はほとんど発生していないため、安心してご利用いただきたい。

多摩市聴覚障害者協会 宮崎委員

- ・女性専用車両は、障害者も利用できるという情報を知らない人も多いため、積極的に周知をしていただきたい。

京王電鉄株式会社 野村委員

- ・周知については、今後も検討をしていく。

4 その他

飛鳥交通ニュータウン労働組合 菅野委員

- ・交通マスタープラン資料編 270 ページについて、当社の乗務員数に誤りがあるため、修正をお願いしたい。

事務局

- ・修正する。

5 閉会

・要点録の署名人として、会長より山下委員及び小柳委員が指名され、会議は終了した。

以上